

子育てしやすい千葉市をつくります

第4回定例会(11月28日~12月17日)が開かれ、子ども医療費の新たな窓口負担増やカジノ誘致ではなく、市民本位の市政への転換などを提案しました。

今年8月から実施 **子どもの医療費負担増は撤回を**
(薬局窓口負担の導入で2倍の負担に)

署名にご協力ください



日本共産党市議団は、**給食費の無償化**
子どもルーム利用料軽減
などを提案しました

千葉市は今年8月から調剤薬局での窓口負担を実施しようとしています。県内では千葉市だけです。これまでの2倍の負担となり、子育て支援に逆行しています。

新日本婦人の会が提出した「薬局での自己負担無料を求める請願」に対し、日本共産党と無所属の渡辺議員のみ賛成しました。

不要不急の大型開発を見直せば財源確保は可能

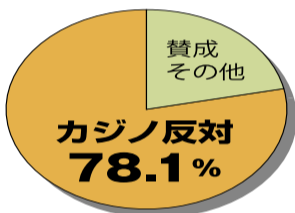
市長の「負担を増やし、その財源を活用して別の子育て支援に回して子ども施策全体を充実をさせた」との説明は不適切であり、ごまかしです。

不要不急の大型開発こそ見直して、今年8月からの負担増は撤回すべきです。



千葉市にも日本のどこにも ギャンブル・カジノはいらない

市長は、民間事業者の提案を「幕張新都心エリアでのIRが十分に成立しうることを示唆する内容」と評価し、市民の声を聴かずにカジノ誘致に前のめりの姿勢を示して、議会閉会日の会見で、「年度内に判断する」としていました。



日本共産党市議団の市民要望アンケートの結果(2017年)



カジノ・IRの誘致先として有力とされる幕張新都心

来年7月までのカジノ誘致の申請見送り 反対の世論が市長を追いつめた

1月7日の市長記者会見で「国から示されているスケジュールでのIR・カジノの誘致については行わない」と申請見送りを表明。今回だけでなく将来にわたって誘致を断念させましょう。

青葉病院・海浜病院は、 市立のまま存続・充実を

市立病院は、「市民の命と健康を守る最後の砦」です。

「あたらしい千葉・みんなの会」が6,600筆を超える署名とともに提出した「病院の存続・充実を求める請願」に対し、「趣旨はわかるが市民の意見はさまざま」との理由で、日本共産党を除くすべての会派・議員が反対しました。

「再編・統合」の病院名撤回を求める



日本共産党市議団は、「再編・統合」を進める厚労省の病院名公表の撤回を求める意見書を提案。

他会派は、「厚労省の対応は遺憾」としつつも「推移を見守る」として、提案に反対しました。

外国企業からワイロ カジノ担当元副大臣が逮捕

カジノ誘致をめぐり、不透明な資金の流れや利権の存在が浮き彫りになっています。千葉市はこれまで、事業提案した企業名をふせたまま公表を拒み、カジノ誘致を心配する市民の不信や疑惑を強めていました。千葉市を利権の舞台にしないため、今後も注意深く監視を続ける必要があります。

被災者支援に全力

支援金給付、道路浸水対策、農業支援など
総額56億円以上の補正予算に

この間の台風被害による被災者への支援制度の拡充が行なわれています。第1次から第4次の補正予算は総額で56億円となりました。

日本共産党は、被災者の生活となりわいの復興に引き続き全力をあげます。

今後の災害対応 あたたかい食事の提供を検討

市は、共産党の提案に「全ての避難所で温かい食事の提供ができるよう検討していく」と答えました。

